

湘南フォーラム

選ばれるまち、住み続けるまちへ

山原 栄一 議員



市長4期目に向けた「新しい種」とは

問 市長の考える「その先に向かって、まき続ける新しい種」の考え方と内容を伺う。

市長 持続可能なまちづくりをしつかりと根付かせるために、少子化対策や地域福祉の拡充、安心・安全の強化、産業の活性化やデジタル化、脱炭素化への取り組み、平塚駅周辺地区を

じめとするまちづくりの推進など、市政全般に新しい種をまき続けたいと考えている。

平塚駅周辺地区将来構想について

問 令和5年度の取り組みの特徴を伺う。

企画政策部長 駅周辺地区の各エリアや通りごとなどに配置する機能などを検討し「平塚駅周辺地区将来構想(素案)」としてまとめ

地域における消防・防災力の確保

問 地域の安心・安全を担う消防団員の担い手不足が深刻化している。団員確保に向けた取り組みを伺う。

消防長 団員募集のポスター掲示のほか、令和4年度は入団申請の電子化や消防団に所属する大学生などの就職支援の一環として「平塚市学生消防団員活

動認証制度」を策定し学生の入団促進を図っている。

中学校完全給食

問 現在の進捗状況と令和5年度の取り組みを伺う。

企画政策部長 令和5年4月から学校給食センターの建築工事に取っかかり、6年6月に整備完了予定である。中学校の給食受入施設整備は全ての中学校を5年度に行っていく。

平塚市民病院

問 新型コロナウイルス感染症の患者受け入れ人数と院内体制を伺う。

企画政策部長 受け入れ数は令和5年3月1日現在で

合計793人である。現在の院内体制は、県との病床確保に係る協定に基づき重症2床、中等症2床の計4床となっている。

安心して子育てができる環境をつくる

問 高まる保育ニーズに対する取り組みを伺う。

企画政策部長 令和5年4月は、小規模保育事業所1園が開設、既存幼稚園1園が認定こども園化、既存保育園1園が改築により定員増を図る予定である。5年度中の保育所開設や、6年度に向けた既存保育園の改築による定員増を図るほか、保育士確保に向けた就

労支援金の交付、メンタルヘルス対策、特設サイトの運営などに取り組み、4月以外の入所ニーズにも引き続き対応していく。

河川の安心安全

問 金目川水系の洪水対策の整備状況を伺う。

土木部長 河川管理者である県が、金目川右岸の唐ヶ原地区や河内川右岸の山下地区などで河川改修工事を進めているほか、河川内の堆積土砂の撤去などを、金目川の南金目地区や鈴川の寺田縄地区、渋田川の東豊田地区など多くの箇所で行っている。

岡崎地区の未来に向けて

問 市営岡崎住宅跡地は、将来の既存公共施設等の配置可能性も含め岡崎地区の未来に向けたまちづくり

しを伺う。
土木部長 令和3年度から本市と伊勢原市、管理者である県で連絡会を設置し、協議調整を行っている。

声や点字の議会だより

議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」や点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。



問い合わせ
議会局 ☎21-8791

公明ひらつか

秋澤 雅久 議員



少子・超高齢化をどう乗り越えるか

令和5年度予算より

問 少子・超高齢化へ向かう中で、持続可能な行政運営に必要なものを伺う。

市長 各自治体が創意工夫を凝らし、少子化対策や、地域経済の活性化などに取り組みとともに、生産性を高めるためのデジタル化や脱炭素化に向けた取り組みを推進していくことが重要であると考える。

問 令和5年度の当初予算は骨格予算だが、コロナ禍や物価高騰から市民の命と生活を守り、市民の安心や希望をどのように予算に反

映したのか伺う。

市長 総合計画の重点施策に位置付けている地域経済の活性化、子育て支援、超高齢社会の対応、安心・安全なまちづくりを中心としたさまざまな施策により、市民サービスの更なる充実を図り、新たな社会に向けて、着実に歩みを進める予算としており、市民の安心や希望につながるものと考えている。

問 市内中小企業への賃上げ促進税制や、業務改善助成金などさまざまな賃上げを促す制度をどのように活用させるのか伺う。

市長 市ホームページなどでの制度案内や、商工会議所などの関係機関と連携し、事業者からの問い合わせなどに速やかに対応できるように努めている。また、市役所の金融総合案内窓口で実施している経営相談会を利用してもらい、専門家による書類作成などの支援を行うことで、国の制度活用を促進につなげていきたい。

問 女性の正規雇用促進についての考え方を伺う。
市長 女性の就労に対する意識などを分析し、正規雇用を含めたさまざまな働き

方に応じた支援に取り組む必要があると考えている。

問 女性を雇用した場合に助成額を増額するなど、正規雇用促進補助金にインセンティブを付けてはどうか。

産業振興部長 正規雇用促進補助金は、高齢者や障がい者、就職氷河期世代などの就職困難者を対象としており、妊娠・出産を理由に離職し、1年以上職に就いていなかった人も対象としている。女性の就労に関しては、それぞれが置かれた環境などを考慮し、希望する働き方に応じた支援を今後検討していきたいと考えている。

問 小児医療費助成を高校生まで拡大することへの見解を伺う。
市長 対象者を高校生まで

拡大することで、子育て支援の更なる強化を図り、子育て世帯への経済的な負担軽減や子供の健全な育成、健康増進につなげていきたい。今後も、ずっと、選ばれるまち・住み続けるまちの実現を目指していきたいと考えている。

問 国民健康保険国庫負担金が減額調整されても、小児医療費助成は行っていくのか伺う。

市長 財政のやりくりをしながら、制度として取り組みを進めていきたい。

問 学校運営協議会の成果と課題を伺う。
教育長 豊富な地域の資源や地域の人材を活用することで、教育活動が充実することを再確認し、子供たち

が地域に興味を持ち、地域に積極的に関わろうとする姿勢が見られたことである。課題は、会議の日程の調整や立ち上げ期に、地域や保護者の方への説明や、地域の方との連絡調整に時間がかかること、また、学校と地域をコーディネートする人材の確保が挙げられる。

問 不登校特例校について、大和市の不登校特例校分教室を視察し、検証を行ったと思うが、設置へ向けた検討状況を伺う。

学校教育部長 子供たちの教育の機会の提供、安心した居場所づくりに大変有効であると考えている。まずは、視察結果を本市としてどのように活かしていくのかについて、取り組んでいきたい。

問 ICT機器の活用による、教員の働き方改革について、今後の展望を伺う。

教育長 現在、成績や学籍などを扱う校務に関する情報と、児童生徒の学習や授業内容を扱う教育に関する情報は、別々のパソコンで

管理をしている。これらの情報を、どちらのパソコンからでもアクセスできるようにすることで見込まれる教員の業務や業務負担軽減について、国の動向も注視しながら、研究をしていく。

1面掲載写真を募集しています

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、議会だより1面に掲載する写真を募集しています。

季節を感じられる、平塚市の魅力を収めた写真をご応募ください。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。

(議会局 ☎21-8791)

